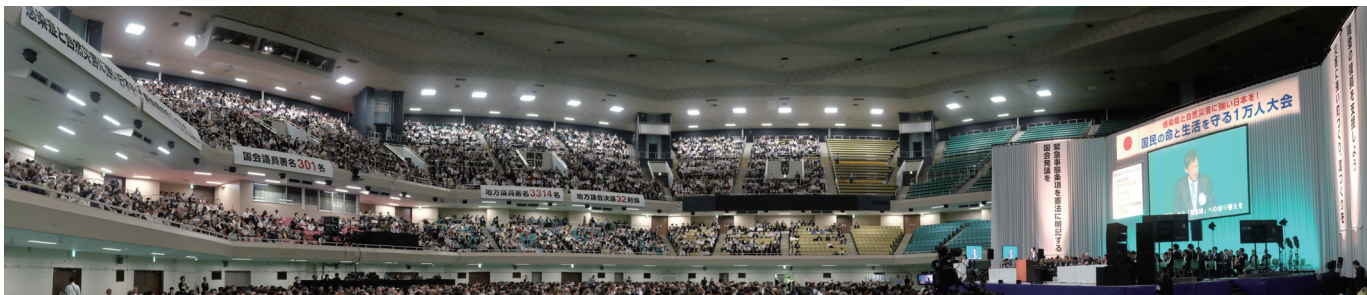


# 憲法に緊急事態条項の明記を！ 日本武道館に1万人が集結



令和6年  
6月11日  
第49号

発行  
内外政治  
研究G  
代表 宮田修一



大会には多数の衆参国会議員が駆けつけた

大会の様子は以下のURLまたはQRコードのYouTubeで視聴できます。  
<https://youtu.be/watch?v=VmkcOJzR08E>



「感染症と自然災害に強い日本を！」をスローガンに掲げた「国民の命と生活を守る1万人大会」が5月30日、東京・千代田区の日本武道館で開かれました。

フォーラムなどが開催。123人の国会議員（代理を含む）のほか、多数の地方議員や知事・副知事なども駆けつけました。1万人余の参加者で埋まった会場は終始、熱気に包まれ、「憲法に基づく緊急事態宣言」によるルール転換などを求める決議を行いました。

大会決議  
感染症と自然災害に  
強い日本を



## 岸田首相「発議に向け 全力で取り組み」

大会では最初に主催者代表の日本製鉄名誉会長三村明夫氏が「国民の命と生活を守るため速やかに条文起草の段階に入ってもらおうようお願いする」と発言。続いて岸田文雄首相が自民党総裁として登壇。「国民に選択肢を示すことは政治の責任であり、いたずらに議論を引き延ばし、選択肢の提示すら行なわないということになれば、責任放棄と言われてもやむを得ない。自民党としても、国会の発議に向けては、超党派の国会議員301人と地方議員3314人が署名。全国32府県が審議促進を決議しています。」

## 与党筆頭幹事「立憲抜きでも 今月4日に条文起草着手へ」

自民党筆頭幹事の谷元氏は、30日に開かれた衆院の憲法審査会終了後、野党筆頭幹事の逢坂誠二氏（立憲）に対し、6月4日の審査会幹事懇談会開催で改憲条文案の起草作業を行なうことを提案しました。

したが、中谷氏は記者団に「全党そろっての協議が望ましいが、できない場合は（立憲や共産を除く）5党派で条文を示したい」との考えを示しました。国会の会期末は23日に迫っており、いつまで経っても起草作業に応じない立憲側は「最終通告」を突きつけた形です。

議に向けた具体的な議論が前に進むよう、全力で取り組んでいく」などと述べました。

## 都市災害専門家 「このままでは 日本は潰れる」

大会では、日本医師会会長の松本吉郎氏のほか、被災地支援を続けて来た俳優の杉良太郎氏とアルピニストの野口健氏が意見を表明しました。野口氏は「日本は地震が起きてから（被災者救援を）一から用意するということを毎回繰り返してきた。平時のうちに国の権限に基づいて準備をやっておくべき」と述べました。

また、都市災害が専門の関西大の河田恵昭氏は「日本人は経験のないことは、『（将来も）無い』ことにしてしまう。（このままでは）日本は潰れる」と警鐘を鳴らし、地方議員の代表は「改憲の発議で国民が判断する機会を」と訴えました。